

主 要 記 事

- 2頁 解説「今なぜ歯科医療改革か」
- 3頁 第12回北信越ブロック会議報告
- 4頁 第1回奥さまサロン
- 5頁 シンポジウム「石川の明日の医療を考える」
- 8頁 協会ゴルフ大会

石川保険医新聞

発行所
石川県保険医協会
金沢市尾張町1丁目9番11号
尾張町レジデンス2F
電話 (0762) 22-5373番
発行人 後藤田博之
印刷所 ユーアイ印刷
(会費月額 3,800円)

第二回コ・メディカルのための糖尿病懇話会

第一線、五人の演者から より深い糖尿病の勉強



全体討論も活発に行われた。

昨年の第一回に続いて、第二回コメディカル・医師のための糖尿病懇話会が十月十八日に石川県婦人会館において開催されました。今年も二回目であるためか、参加者は七十二人と昨年の一三〇人に比べて少なかったが、当日の参加も数名見られました。



能登 裕先生



厚見智子先生

第一回は、糖尿病の総論と各論をすべて網羅した、きわめて欲張りな内容で、八人の演者から話を聞きまじった。今回は演者を五人に絞って、糖尿病についてより深く学びました。演者は白倉教臣先生(金沢医科大学短期大学教授)は、「糖尿病の治療法」と題して、患者自身の自己血糖測定による管理などについてまで解説されました。村本信吾先生(能登総合病院副院長)は、「糖尿病



白倉教臣先生



村本信吾先生



浜野祥子先生

持論

十月二十四日の新聞各紙は健康保険組合連合会(健保連)が「老人医療費支払い方式の改革について」と題する提言を厚生省に提出したことを報じた。その骨子は①「老人登録医制」の導入、②現行の「出来高払い制」を改め、老人慢性疾患の医療費支払いを「定額制」とするなどの内容となっている。

提言の老人登録医制は各組合健保が個別に良心的な医療機関を老人登録医として指定し、老人は指定医に登録して健康相談、健康診断を無料で受けられるようにして発病予防に重点を置き、これにかかる費用は各健保組合が負担するとなっている。健保

組合が医療機関を指定出来る法的な根拠があるのか、良心的と言う尺度をどこに求めるのか、おそらく平均点数の高い医療機関は指定から外されよう。また指定により受診先が限定され、

原則的に定額支払い方式にするというものである。一九八三年より米国においてDRG制度が敷かれた。これは諸氏もご存じであろうが、診断別グループにより医療費を定額

院の増加、中小病院の孤立化・倒産と言った事態が相次いでいるという。一旦この定額制が導入されれば老人医療だけでなく、いずれ健康保険全体に及んでくることは火を見るよりも明らかである。さらに医療費の頭打ちにより診療行為の手抜きが行われ、「粗診・粗療」が横行し、患者のたらい回しもはやりかねない。また、現行でも多い事務量がさらに複雑多量になり医師の労力が費やされることにもなる。

講演終了後に行われた総合質疑・全体討論も活発に行われ、アルコールは食品交換表①と交換するのかなどの質問もあり予定の時間では足りないほどでした。行楽日より秋晴れの空を窓外に見ながら、出席したすべての人たちが午前十時より午後四時半まで熱心に勉強いたしました。

問題だらけ 許されぬ

「老人医療費支払い方式」の改革

等しく医療を受ける権利が侵害され、憲法に抵触する恐れもある。「定額制」の内容は増加の著しい老人医療費を抑制するため入院・外来とも三ヶ月経過後は

支払いとする方式で、この制度では一件当たりの報酬額は一定であるから、当然コストの切り下げが必要となり、患者が短時間で病院を追い出されたり、営利主義経営となってチェーン病

先進国中、最低の医療費で高度医療水準を保っている現医療体制を破壊し、弱者切り捨てをもちろむこのような意図は断じて許されてはならない。

講演終了後に行われた総合質疑・全体討論も活発に行われ、アルコールは食品交換表①と交換するのかなどの質問もあり予定の時間では足りないほどでした。行楽日より秋晴れの空を窓外に見ながら、出席したすべての人たちが午前十時より午後四時半まで熱心に勉強いたしました。



司会の早川浩之先生(左)と能登康夫先生。

医心凡語

八七年ノーベル医学生理賞は米マサチューセッツ工科大学教授の利根川進博士に決まった。受賞理由は「抗体多様生成の遺伝法則」の発見という。免疫学では長い間謎とされていた困難な問題を解決したわけであるが、彼は同じく難問であるところの「エイズの治療」の見通しについて「必ず解決されると思います。科学的方法を信じていますから」と発言した。

彼の科学的的方法とはわれわれの想像をこえた技術と考え方だと思いが、今われわれが応用できる方法としては、現代科学の思考の源流といわれているデカルトの方法論がある。すなわち直面した難問題を解決するには、まず、それをいくつかの問題に分け、それぞれを解決して総合すれば最初の問題は解決するという分析と総合の考え方である。この方法が三百年の間に幾多の天才に用いられ今の科学があるとの意見には説得力がある。診療や、地域医療、病院の経営問題などを、われわれなりに分割、すなわち分析し、総合して解決するというのはどんなものだろうか。秋の夜ながのつれづれに古人の知恵を懐しんでみるのも一興である。子いわく、ふるきをあたため新しきを知る。

第12回北信越ブロック会議

保険医の要求を重視し、地域を基礎にした活動を討議

▶10月24・25日 新潟市で開催

医科分科会

各地区に必要な世話人づくり

二日目の医科分科会は十八人の出席により、新潟県保険医協会の司会にて進められた。午前中は各協会の歩みをふまえて、「保険医の要求を重視した協会づくり」、午後は「地域を基礎にした協会活動の見直し」についてそれぞれの協会の現状が報告された。

各県の報告の中で特徴的な活動を紹介しますと、石川では在宅医療の推進のため、会員アンケートはじめ往診、訪問看護に関する懇談会、医療福祉制度研究会など多彩に活動を進めている。富山では老人保健法、売上税、障害老人の医療費助成など社会的に注目されている問題が浮き彫りになった。

このように各地で医療・福祉を守る活動を軸に実践に発展している保険医協会の姿が浮き彫りになった。

主に論議になったのは国民健康保険証の未交付問題であり、新潟、長野、富山では県下市町村の保険証の交付状況を調査し、その内容をもとに記者会見や県国保課への申し入れ、医療機関には窓口での注意事項をPRするなど重要な局面で機敏に対処し、協会の社会的評価を高めている。

地域に根ざした活動では新潟が県下十四カ所にて精力的に会員懇談会を、石川が毎年八会場から従業員講習会を開いており、富山が移動理事會や新点数講習会を毎年複数会場で開催するなど、それぞれ工夫して取り組んではいるが、財政面や事務局体制が不十分のため、近年中に地域に支部づくりを想定した動きはない。

医科分科会

今こそ望まれる 歯科医一体の活動

いろいろな議題が討論されたのですが、二、三の項目に絞って記載・報告します。

◆夜間診療および診療時間 近年、大都市部ばかりか、地方小都市部でも、歯科医急増のためか診療時間の延長、または、夜間診療が多くなった。歯科医師側の自分さえ良ければという安易な発想のもとで、患者側への単なる迎合という形で行われていないだろうか。歯科界全体としてこのような状況が是認されれば、体力的ハンディを負う者、あるいは種々の理由で夜の診療を避ける者が不利益になる

保団連全国審査担当者会議

歯止めが必要 増加する経済的審査

十月二十五日、東京にて保団連全国審査担当者会議が行われましたが、現在、情報として非常に厳しい状況にあり、良質で効率の良い医療のもとに、定額導入制や長期入院抑制、入院食事負担などを内容とする中間報告や審査や指導監査強化などによる保険者攻勢によって医療費抑制政策がますます強くなりつつあることは周知の通りです。中間報告は、まさに厚生省の医療費抑制と医療統制および民間活力導入による大企業の医療参入への開放、個人負担の増加などの多数の問題を含んでいるようです。そして現実には、近年レポート請求に対し査定や返戻

が全国どこも同じように毎年倍増傾向を示し、特に検査項目に関しては細部にわたり、また薬に関しては薬効でなく効能書きに基づき

のチェック、さらには業者委託でのチェックすら行われる現状では、ますますこの傾向が強まり、保険者よりの査定、返戻が増加することは明らかであり、これに対し、診療側からの理由説明の問いあわせや再診請求が極度に少ない現状である。診療側も単純な番号記号間違いや病名もれ、医学的観点からの診療に留意し、よりよいレポートを作成し、保険者に対し問題ある場合は、どしどし説明を求め再審査請求を行い、医学的見地よりの正しい本来の審査姿勢を追求する必要があると思われま

◆夜間診療および診療時間 近年、大都市部ばかりか、地方小都市部でも、歯科医急増のためか診療時間の延長、または、夜間診療が多くなった。歯科医師側の自分さえ良ければという安易な発想のもとで、患者側への単なる迎合という形で行われていないだろうか。歯科界全体としてこのような状況が是認されれば、体力的ハンディを負う者、あるいは種々の理由で夜の診療を避ける者が不利益になる

◆身体障害者・在宅医療 長野協会代表の発言が良かった。老人ホームなどの施設においては、単に出かけて治療なり指導なりすれば良いのだが、寮母さんなどの負担増にならない配慮が必要。また、一人で継続するのは困難で、チームワークと行政のバックアップが必要。個々の障害者などにおいては、単なるセンター方式でなく、各市町村、地区に障害者歯科相談医を設置し、そこからセンターに送

主に論議になったのは国民健康保険証の未交付問題であり、新潟、長野、富山では県下市町村の保険証の交付状況を調査し、その内容をもとに記者会見や県国保課への申し入れ、医療機関には窓口での注意事項をPRするなど重要な局面で機敏に対処し、協会の社会的評価を高めている。

地域に根ざした活動では新潟が県下十四カ所にて精力的に会員懇談会を、石川が毎年八会場から従業員講習会を開いており、富山が移動理事會や新点数講習会を毎年複数会場で開催するなど、それぞれ工夫して取り組んではいるが、財政面や事務局体制が不十分のため、近年中に地域に支部づくりを想定した動きはない。

今年九月に行いました税務調査アンケートの集計が済みましたので報告致します。

回答数は百三十一名と非常に多く、関心の高さがうかがわれます。この内、過去三年間に二十三名の会員が税務専門員の訪問を受けており、これらの先生方の切実な声が聞こえるようで、さぞ大変だったことと思います。

私たち開業医は個人で莫大な投資をし、厳しい医療情勢のもとに、人件費そのほか多くの諸経費に悩まされながら医療を運営し、ようやくくひねり出した利益に、累進課税という重税が待ち受け、それを支払った残りで生活費と元金の返済をし(大抵不可能であるが)、ほとと一息ついたところへ

今年九月に行いました税務調査アンケートの集計が済みましたので報告致します。

回答数は百三十一名と非常に多く、関心の高さがうかがわれます。この内、過去三年間に二十三名の会員が税務専門員の訪問を受けており、これらの先生方の切実な声が聞こえるようで、さぞ大変だったことと思います。

私たち開業医は個人で莫大な投資をし、厳しい医療情勢のもとに、人件費そのほか多くの諸経費に悩まされながら医療を運営し、ようやくくひねり出した利益に、累進課税という重税が待ち受け、それを支払った残りで生活費と元金の返済をし(大抵不可能であるが)、ほとと一息ついたところへ

やってくる税務調査ですから、実に悲しくなりませう。

アンケートでは、調査を受けた二十二名全員が事前連絡を受けており、響がおよぶのは私だけではないと思います。従って署員の言動が、やわらかいムードで、高圧的、悪い態度でない(アンケート意見欄から)の、ほっとさせられます。この様子なら私たちが、礼を尽くして真剣に、明るく対応することも可能ではないでしょうか。それにしても、あいまいな根拠に基づく経費否認(アンケート意見欄から)に対しては、署員の不当な見解や疑いについて、毅然とした態度で、十分に説明し、速やかに撤回を求めることが大切でありましょう。

また、これが「医師の脱税」というマスコミ攻撃を防ぐ最良の手段かと思えます。

税務調査アンケート集計結果

署員の不当な疑いには 毅然とした態度が必要

経営対策部 加藤日出治

予告なしで来ることはなくなっておりますから、心の準備はある程度はできますが、それでも予告された日より食欲がなくなり、日々の診療にも影

とが必要だろう。逆に歯科組織自ら、日曜当番制・夜間の救急体制の完備確立を集団・地域として完成させるべきだ。

◆身体障害者・在宅医療 長野協会代表の発言が良かった。老人ホームなどの施設においては、単に出かけて治療なり指導なりすれば良いのだが、寮母さんなどの負担増にならない配慮が必要。また、一人で継続するのは困難で、チームワークと行政のバックアップが必要。個々の障害者などにおいては、単なるセンター方式でなく、各市町村、地区に障害者歯科相談医を設置し、そこからセンターに送



30名の奥様方が参加。中央の男性3人が講師陣で左から小野政明ユニバーサル証券金沢支店長、神田順一協会事務局長、後藤田博之協会会長。金沢都ホテル

第1回 奥様サロン やりくり上手な奥様の年金・税の基礎知識

年金は掛け続ける方がお得デス!!

小松市 金子美江子

十月十五日に開いた奥様サロンには「マル優廃止後の資産運用と相続税対策」という厳しい経済問題にもかかわらず、三十人の奥様方の参加があり、和気あいあいとした雰囲気の中で運営することができました。ここに参加者から感想文が届きましたので掲載します。

第一回奥様サロン「やりくり上手な奥様の年金・税の基礎知識」、やりくり上手だなんて人から言われたこともなく、自分でも思ったことなし。税の基礎知識も、もちろんない。これでは四人の子供の親として心もとなく、私たち夫婦の将来のために知識を増し、頭の体操にもなるだろう、大分さびついたような気分がする、と思って参加しました。

日頃の出無精がたたってか、都ホテルの一階で、「都ホテルはどこですか」など、とちよっとおしゃべり。なんと長男さんが国立大学を出られて、今年国家試験にもパスなさったとのこと。うらやましいわねえ。エ、二男さんも国立大医学部へ、ムムム……ウチの長男、懸垂と腕相撲は学校で一番なんだけど……

「保険医年金の上手な利用法」。保険医協会の神田順一さんのお話では、何と

いっても、やっぱり保険医年金はお得ですよ、ということ、年金を掛けたり解約したりした私は後悔することしきり。これからは年金をもらえなくなるまで掛け続けようという決心しました。

主人四十九歳、私四十四歳。「五つ違いは、いつも良い」という五つ違いの夫婦なんです。揃って長生きして、年金で楽しい生活をしよう。そういえば、先だつての敬老の日にテレビで見たんだけど、百歳でびんしゃんしているお年寄りたちには、びっくりしてしまいました。もしかしたら百歳も夢ではない時代になったのね。いよいよ保険医年金が頼りの時代ではありませぬか。さあ、健康で生きがいのある、長くなつた老後を楽しんで生きていくために努力いたしましょう。これから奥様サロンにぜひ出席してお勉強したり、おしゃべりしたり、皆仲良くしましょう。

筆者は小松市の会員、金子徹先生(歯科)の奥様です。

答がなされましたが、結局はしっかりと税金に持って行かれる、ということのようです。税務署って頭いいのねえ。隣り合わせた奥様

メテイカル・ゼミナール

解説 税制改正

シリーズ②

木村経営ブレイン
木村光雄 税理士

先月号に引き続き、六十二年度税制改正の骨子から、利子課税を中心にご説明したいと思います。

利子課税の仕組みの比較

現行課税分	現行非課税分
源泉分離35% 非課税枠を超えた分 総合課税	郵便貯金 300万円 銀行預金 300万円 国債 300万円 (特別マル優) 財形貯蓄 500万円
一律分離 20% (国税分 15% 地方税分 5%)	65歳以上の老人 母子家庭、身障者
改正案課税分	改正案非課税分
相互掛金、抵当証券、金貯蓄口座、外貨定期預金、一時払養老保険、一時払損害保険等の金融類似商品に係る収益について	

① マル優の廃止(六十二年の四月一日から) 預入れの際に提示することになるのですが、非課税となるのは、それぞれ〇〇万円までとなります。(注)少額公債の利子非課税制度も廃止されます。

② 遺族基礎年金受給者である被保険者の妻

③ 寡婦年金受給者

④ 身体障害者手帳の交付を受けている者

この①④に該当することによって非課税貯蓄をしようとする者は、制度の対象者であることを

証する一定の公的書類を預入れの際に提示することになるのですが、非課税となるのは、それぞれ〇〇万円までとなります。(注)少額公債の利子非課税制度も廃止されます。

したがって一般の人の場合は、現行ではマル優限度までは非課税、限度超の部分は、三十五%の分離課税か総合課税かの選択となっておりますが、今回の改正により、二〇%(国税十五%、地方税五%)の分離課税一本となります。

現行と改正案の仕組みを比較しますと左図のようになります。

Ⅱ 金融類似商品の利子の扱い。(昭和六十三年四月一日から) その収益が利子所得とされていない定期積金、相互掛金、抵当証券、金貯蓄口座、外貨定期預金、一時払養老保険、一時払損害保険等の金融類似商品に係る収益について

では、預金利子等に比較して不公平があるので一律二〇%の源泉徴収として分離課税することになります。

なお、割引債の償還差益に係る分離課税の税率は十八%(現行十六%)に引き上げられます。

Ⅲ 有価証券譲渡益について

個人の有価証券譲渡益については、原則として非課税になっていますが、例外的に課税される大量取引等の場合の課税対象については次のように基準が拡大される見通しがあります。(昭和六十三年十月より)

① 「継続的取引」の基準となる売買回数を超え、三十回(現行五十回)以上、売買株数を十萬株(現行二十萬株)以上とする。

② 「同一銘柄の株式等の相当数の譲渡」の基準を十二萬株(現行二十萬株)以上とする。

③ 「特別報告銘柄の株式の相当数の売買」の基準を十二萬株(現行二十萬株)以上とする。

なお、右の①③については、政令で規定されますから、若干の変更も

考えられますのでご留意下さい。

Ⅳ 土地税制

昭和六十二年十月一日から昭和六十五年三月三十一日までの間の土地譲渡についての長期・短期の区分については、所有期間五年(現行十年)で区分することとし、同期間の譲渡が超短期(所有期間二年以下)の土地などについては、

① 土地の譲渡等に係る事業所得等の金額の五十%相当額

② 土地の譲渡等に係る事業所得等の金額につき総合課税を行った場合の上積税額の二〇%相当額

のいずれか多い金額で所得税が課税されます。

また、特定事業用資産の買換えの特例については、譲渡益のうち、買換え資産に対応する部分の二十%相当分は課税の繰延べを行わないことになりました。

以上が主だった税制改正点ですが、実務面は政令その他で詳細に規定されますので、その政令等が確定してから、特に「マル優と金融類似商品の利子課税」についてももう少し掘り下げて解説したいと思いますと考えております。

このコーナーへの質問は、木村経営ブレインまでどうぞ。(相談無料)
TEL(0762)91-3335(代)



協会からシンポジストとして参加した地域医療対策部長の大野幸治先生(中央)

シンポジウム 石川の明日の医療を考える

石川県地域医療計画と住民の健康 協会から大野先生が問題提起

十月十八日、石川県社会福祉会館にて行われたシンポジウム「石川の明日の医療を考える」石川県地域医療計画と住民の健康(医療福祉問題研究会の主催)には医師、保健婦、研究者、行政担当者など五十二人の参加があり、医療計画の策定に関して住民、医療福祉担当者の声をもっと反映すべきと熱心な話し合いが行われました。協会から大野幸治先生(金沢市・内科)がシンポジストの一人として参加し、次のような問題提起を行いました。ここに報告要旨を掲載します。

医療計画における任意的記載事項に関する私見

① 病院と診療所の機能分、担 病院は原則として紹介外来制をとり、入院診療に専

② 病診連携 高額医療機器の共同利用や特殊検査、特殊外来や利用をすすめるために石川県保険医協会が発行した「病

③ 患者サービスの向上 入院給食の選択制が考えられているが、同室で上、中、下の食事をとることは快適サービスでなく、不快サービスになりかねない。食事のために病室分けをしなければならぬことになる。これは在宅介護も含めて所得による階層化へと進むだろう。

二 中間報告のねらい

① いわゆる社会的入院の排除 報告では医療従事者や国民の要望に添えるようなことも述べられているが、要は医療計画で病床数の枠を決め、その中の三分の一近くを中間施設に切り替える考えであるが、日本の福祉面での遅れや先進国最低の住宅事情や三世帯家族の減少、夫婦共稼ぎ、介護者自身の高齢化などで、施設入所や在宅介護の実現にはか

④ その他、大学の保険診療や保険医指定をめぐって 教育面や研修病院指定など重要な問題が提起されている。保険財政だけの狭い視野でしか考えられておらず、日本の医学教育、国民医療の総合面からの検討が必要。

⑤ 次の医療法改正では、診療所に対する規制、家庭医制度、保険医の定員制などがあげられている。今回の入院判定委員会などの設定も含め規制と統制ばかりが先行し、国民のための血の通った医療がうすらいでいくのが危惧される。

三 まとめ

以上いくつかの問題点をあげてみたが、今後入院判定、施設入所、在宅医療をめぐって老人がたらい廻しにならないよう、そして厚生省が言っている快適な老後が送れるよう医療関係者と福祉関係者が連携して、また、住宅問題、法的問題ではそれぞれの関係者

第15回 家族・従業員レクリエーション

エキスポランドで リフレッシュ

十月十日、十一日(連休)に行われた第十五回家族・従業員レクリエーション「うめだ花月観劇とエキスポランドの旅」には三十七名の参加がありました。



十月十日、十一日(連休)に行われた第十五回家族・従業員レクリエーション「うめだ花月観劇とエキスポランドの旅」には三十七名の参加がありました。十日朝八時、金沢駅前を出発。一路大阪へのバスの中ではゲームやストレッチ体操を楽しみながら、お笑い陣が繰り出すうめだ花月劇場に到着。出演予定の「大助・花子」が急病のため、「阪神・巨人」「仁鶴」「月亭八方」などの漫才、落語を参加者一同、顔のしわを気にしながら三時間余りを楽しみました。宿泊先は京都市の西方、閑静な山峡の地に湧く湯の花温泉「すみや」旅館。旅館での夕食では、まず部屋ごとに紹介があり、その後カラオケ大会。中には「顔負けの上手な方もおり、和気あいあいの懇親会となりました。二日目は湯の花温泉を後に大阪の「ツイン21」

「エキスポランド」へ出発。「ツイン21」は十八階建てのノッポビルで最上階には大阪一円が見わたせる展望台があり、景色は最高。エキスポランドではジェットコースターなど三十種以上の乗り物と巨大な迷路で時間も忘れ、リフレッシュできたと思います。帰りのバスの中では、エキスポランドの疲れが出たのか皆さん良く寝ている間にバスは予定時間より早く金沢に到着しました。「参加者アンケート」の中には、「もっと自由時間があればよい」「ショッピングする時間が欲しかった」との意見がたまたま。参加いただきたいと思いましたが、皆様お疲れさまでした。(文化部)

医師とパラメディカルのための 第4回医療福祉制度研修会 ご案内

とき 1987年11月27日(金) 午後7時~9時
ところ 石川県教育会館 2階
テーマ 窓口で役立つ 医療・福祉制度の利用法
講師 映寿会病院MSW 鈴木森夫氏
参加申し込みは協会事務局まで
☎(0762) 22-5373

大陽と緑がこぼれる町

根上町を訪ねて

(根上町厚生課の方々にインタビュー)

わが町村の医療福祉を語る

第9回



インタビューにお答えいただいたみなさん。左から東英之主査、山崎一雄課長補佐、熊本丞二課長、中川冬子、山下実代両保健婦。

今月は、「大陽と緑がこぼれる町」、根上町をご紹介します。
取材には根上町厚生課の熊本丞二課長と山崎一雄課長補佐、東英之主査、中川冬子、山下実代両保健婦にご協力頂きました。

生きるモットー

「教育にぜいたくなし」
「健康にまさる幸せなし」

根上町の医療・福祉行政は同町厚生課がその責を担っている。

取材班は今年四月に建てられたという「根上町保健相談センター」へ案内された。特殊浴室、訓練室、調理実習室、指導室などを兼ね備えた鉄筋三階建てのこの建物は、県内でも屈指の施設である。

人口、一四、六〇〇人。県内の「町」の規模としては普通である。しかし手取扇状地に開けた町であるだけに、平坦で有効面積が極めて広い。そしてさらにこの土地の効果的な利用に成功したことが、この町の現在の発展に結びつく大きな要因となっている。すなわち町の東部では、土地が肥えていることを利用して農業中心区域とし、西部の海岸地帯を、工業中心区域とした。そして中心部は商業区域に、という具合である。産業道路(都市計画街路)



今年4月にオープンしたばかりの「根上町保健相談センター」とスタッフのみなさん。

地方自治体の理想郷をめざして

沿線には三十の工場が誘致され、既存の工場と共に住民一人あたりの工業生産額およびその付加価値額は石川県平均の三倍(県下市町村の第一位)に達し、強力な財政基盤を構築した。

根上町を車で走ると、実に様々な施設が点在する。テニスコートは至る所にたくさんあり、体育館はもちろんのこと、ナイター設備を完備した野球場、ローラースケート場、弓道場、相撲場に温水プールとスポーツ施設だけでも相当な数を数える。ほかにもユニークな設計を施した児童館は四方所に、各町の会館はすべて鉄筋でモダンな建物になっている。このほか農村婦人の家、働く婦人の家、青年の家など、ない施設を探すの

が困難といっても過言ではない。

この町のスポーツ施設が各地域に分散配置されているのには確固たる理由がある。「誰でも 何時でも 何処でも」がモットーとされているからだ。施設の利用料金は一切無料というところで、町民の健康管理に大きく寄与しているとのことであった。

一方、「教育にぜいたくなし」というモットーもこの町の特徴である。学校教育施設(校舎・体育館・プール・グラウンドの夜間照明など)を優先整備し、次いで社会教育、文化施設などを整備拡充し、地方自治体



入浴サービスはもちろん送迎つきで無料。

の理想郷づくりを目指しているという。

この町の医療・福祉についてもモットーが生かされている。「健康に優る幸せなし」がそれである。

ガン対策として集団検診の徹底を図り、検診料は一切町が負担し、無料検診を続けている。また、昨年九月議会では、『ガン撲滅の町宣言』を行い、ガン基金の制定と共にその成果が高まっているとのことである。

「根上町保健相談センター」は今年四月に竣工された。前述のとおり優れた設備を有し、これまたすべて無料である。送迎バスを使った入浴サービスやリハビリ事業には特に力を入れ、このセンターはフル活用されている。

今後の抱負は福祉と連携した老人在宅医療

現在二人の保健婦さんが保健事業に活躍している。

先に一人退職し、来年四月まで二人で活躍することになり、家庭訪問の時間がどうしようも足りなくなっているのが悩みとのことである。しかし、中川保健婦さんは十三年、山下保健婦さんは五年のキャリアを持ち、ベテランのチーム・ワークがこのセンターを基盤にして、毎日の保健活動をこなしている。ここで注目されるの

慢性疾患マニュアル第2弾完成

1セット

1,000円(送料込)

お申し込みは協会事務局へ ☎(0762)-22-5373

- ◎COPD
- ◎ガン
- ◎肝疾患
- ◎便秘
- ◎脳血管障害

患者教育に最適です

協会会員の先生方には、1セット無料でお送り致します。

は、このセンターには二人の事務職員が常勤し、保健婦さんの事務的な仕事を引き受けているということである。これまでみてきた他町村では、事務量が多くの訪問活動の時間がどうしても少なくなるといったのが共通の悩みであったのがここでは、十分にその活動に専念できるとのことである。他町村からは羨ましいかぎりではないかとの印象を持った。これもすべて根上町の財政基盤に支えられた行政理念から生まれる配慮であろう。このセンターの内活動は、町民に十分満足さ

(保険医協会取材班)

医療福祉をさぐる人々

⑨

《“統廃合”に直面する国立若松病院》

〒920-11 金沢市若松町セ103の1 (0762) 31-6400



病院職員はもちろん、地域住民、自治体ともに反対の統廃合問題。若松病院前にて

国立療養所金沢若松病院は以前は結核療養所のイメージが強かったが、昭和五十七年から金沢大学第三内科との連携が図られ、特に血液疾患、神経性難病、呼吸器疾患、ストレス性疾患など疾患を絞って集中的に取り組み、専門病院として歩んでいる。

現在では一般内科病棟、脳卒中病棟、結核病棟がそれぞれ三分の一あり、三つの病棟が機能的に分類されている。統廃合の問題については今年八月に田上新町生活学校の皆さんが病院の実状を聞かせて欲しいと病院を訪問されたり、九月には病院の実状について地区会長さん対象の説明会に出向いたりして、改めて統廃合が話題になって地域の人たちが若松病院を見直している。

このようなことがあって水島典明院長は「地域の皆さんの中にも若松病院は結核病院であって一般診療をやっていたことを知らない人がいて、私たちの方が驚いたくらいです」と病院側のPR不足を反省されていた。

さらに、水島院長は「専門性、特殊性を生かした治療を全力でやりたい。そのためにも病院同志が、また病院と診療所の連携により機能を分担して、病院のオープン化を図り、近くの開業医からの紹介患者には

重視したいターミナル・ケア

先の国会で「国立病院等再編特別措置法」が自公・民三党の賛成で採択された。石川県では山中病院と石川病院、金沢若松病院と医王病院がそれぞれ統廃合の対象にあげられ、病院職員はもちろん地域住民、自治体も含めて大きな反対運動が起きている。今回の「医療福祉を支える人々」は「統廃合」に直面している金沢若松病院をお訪ねした。



統廃合の対象になっている医王病院とはたがいに病院の性質が違いすぎるので問題が多い…と水島典明院長。

二人主治医制を提唱したいですね」「白血病患者などターミナル・ケアも医者の良心として重視していきたい」「若年性結核があるため、結核の専門治療もしつかりやりたい」「地域への

貢献がこれまで少なかったから住民対象の健康講座など要請があれば大いに出かけていきたい」など次々とこれらの抱負を述べられた。

一方、職員の反応は統廃合の法律は成立してしまっただが、県内四病院の統廃合のため、「厚生省が企図する実施時期はいつごろなのか」「どのように統廃合されるのか」に関心が集まっている。

看護技術の向上は患者とのかかわりから

総婦長の島津しずえさんは「難病患者は経過が長く、治療を継続させる必要がある。精神的ケアを大事にして、患者接遇を特に重視している」「看護婦が大半を占める職場で看護婦が生き生きと活躍するために毎月、部門ごとの診療会議を開き、職員教育をすすめており、患者さんとかかわりの中から看護技術を身につけていくことが大事」と強調された。この姿勢が同病院看護婦のレポート「予後の不安を訴える患者へのかかわり方の分析」に生

かされ、今年の石川県病院協会研究奨励賞を受賞し、大いに励みになっている。統廃合の問題について、水島院長は「対象となっている医王病院は小児の特定

国立医療労働組合金沢若松支部長の橋吉夫さんは、

陳情の効成し 全市町村議会で 反対決議

難病患者には精神的ケアがより大切…と総婦長の島津しずえさん。



この病院を断じて“第2の国鉄”にしてはならない…と国立医療労働組合金沢若松支部長の橋吉夫さん。

これまでの労働組合の運動にふれ、①私たちの陳情により、石川県では四十一市町村の全ての議会で統廃合反対の決議が採択され、全国でも九割にあたる二、九九九議会で決議している。②組合員が署名用紙を持って三年前に病院周辺の鈴見田上、若松町の全所帯を訪問してはじめて地域の人の

ちに病院の役割を理解してもらい、大いに勇気づけられた。③このような署名用紙を携えての国会陳情、中央行動にも石川県医療労働組合連合会の一員として二度も上京して法案の審議を傍聴し、いっそう決意を固めてきた。④政府・厚生省は「第2の国鉄」として国立病院・国立療養所の再編成を企んでいるようだが、私たちは全国単一の労働組合であり、このような厳しい情勢の中でも組合離れはなく、むしろ組合員は増えており、全国の仲間と地域の人たちと共に統廃合問題に対して最後まで闘うことにしている。決して「第2の国鉄」にはならない、と力強く決意を述べられた。

(保険医協会取材班)

燃料幹旋価格のお知らせ

協会で幹旋しています各燃料の11月分の価格をお知らせします。

☆ガソリン	1リッター	123円
(レギュラーのみ)	〃	
☆灯油	〃	41円
☆A重油	〃	36円

お申し込みは協会事務局まで

☎ (0762) 22-5373

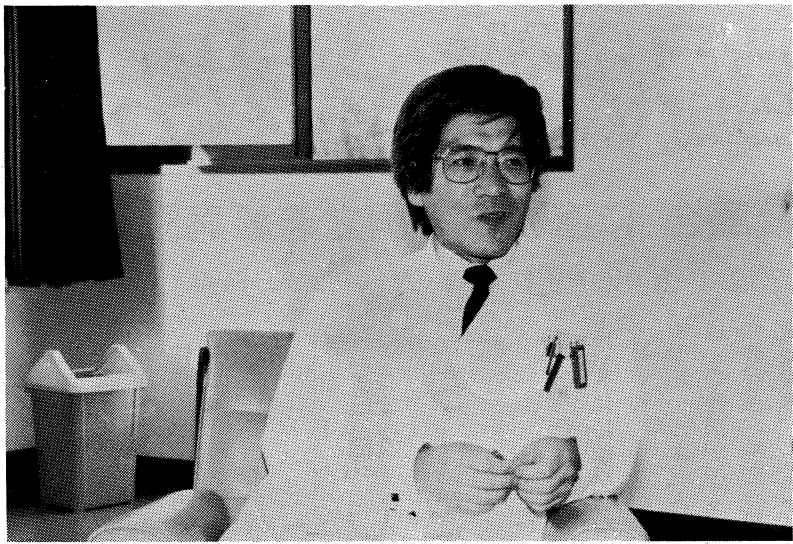
おねおね

松井 晃

先生の巻

国民健康保険

志雄病院院長



保険医協会はまだまだ伸びるはず。もっとPRすべきではないでしょうか…と松井先生。

会員訪問記は今回より公立病院院長で協会会員の先生を順次お訪ねし、病診連携に関する考え方や保険医協会への意見などをザックバラに語っていただくことにしています。最初に国保志雄病院の松井晃先生をお訪ねしました。

接遇やチーム・ワークの向上めざし 職員研修を重視

—まず先生が保険医協会に入会された動機をお聞かせください。

私は最初、保険医協会は開業医の団体であり、勤務医は入会できないところだと思っていました。入会の直接のきっかけは六年ほど前に協会で活躍されている高松弘明、林茂両先生から誘われたからです。当時から保険医新聞を毎月病院医局宛に送付していただ

おり、金沢大学第二内科でよく知っている先生方が保険医協会で活躍されていたから、あまり違和感なく入会しました。

—先生は最初から勤務医指向だったのですか。

押水町で母が今も現役で開業していますが、その跡を継ぐかどうかで私も大いに迷いました。ちょうど林先生が産婦人科の開業に踏み切られたことです。病院長として今年で十五年目になります。病棟の医療内容が次第に充実してきましたので、今はこれで良かったと思っています。おかげで母のところは患者がかなり減ったようです(笑)。

—志雄病院の特徴についてお聞かせください。

私たちの病院は金沢大学第二内科、金沢医科大学とのかかわりが深いため、循環器と消化器は定評を得ているようです。診療科目は内科、外科、小児科、眼科、肛門科、放射線科、歯科などであり、病床数は百床、職員八十四人の中小病院です。

また病院職員の研修を重視し、毎月勉強会を開き、接遇や医療とのチームワークなどを向上させており、最近では確実に接遇面は改善されてきたように思います。

協会の今後に 大いに期待したい

—保険医協会では毎年、県下八会場にて従業員講習会を開いていますが、羽咋会場のときには毎回、志雄病院からたくさんの方が参加されていますね。

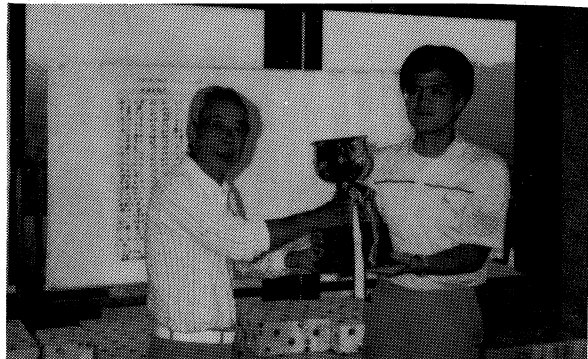
私たちが保険医協会の講習会には期待しています。これからもぜひ続けて

—病院としての今後の抱負をお聞かせください。

能登地区にターミナル・ケアの病院が必要と考えていますので、医師、看護婦、事務職員の研修(抄読会、症例検討、外部研修)を順次すすめていきたいと思っ

第4回 ゴルフ大会

10月4日 金沢ゴルフクラブ



後藤田会長から優勝カップを受け取る平田先生(右)

朝から何だか縁起が良かった

平田 米里

朝から何だか縁起が良かった。両親が能登島で捕れたばかりのイカ、フクラギ、大きいクルマエビを持って来て、早速、サシミにしてくれた。まるで優勝の前祝い。空は秋晴れ、風もなし。スタート時間も申し分なく、第二組という順番も良い。同伴競技者は、シゲル先生のW先生、沈着冷静なK先生、技巧派のO先生、キレイなキャディさん。コースは初めての西。距離が短く、多少のミスショットは何なくカバーできる。先輩たちにスイングを教わり、攻め方を習い、前半40、貯金が31。この時点で僕の優勝は決まった。これから僕を逆転できるのは青木功くらいなものだ。後はOBを7発打って最多OB賞をいただき、予定通り10アンダーであった。

準優勝の先生の朝食はカロリメイトだそう。この食事の差が一位、二位の差になったようだ。…。スマセンノ、ハインディ36の下手が言いたい放題。初めてというところで許して下さい。ア、それにしても気分がエエナア。(野々市町・歯科)

- 優勝 米里 保治
- 二位 田谷 野谷
- 三位 平土 大土
- 四位 成 績

(敬称略)

—保険医協会の最近の活動についてのご意見があればお聞かせください。

毎年「病院マップ」を改訂されている努力には敬意を表しますが、一病院に一冊では十分に活用できません。せめて医局の数ぐらいは欲しいですね。このことはどの病院でも同じ気持ちだと思いますよ。

—保険医新聞についてはどうでしょうか。

私たちは情報過多の中におり、整理された情報を求めています。その意味では保険医新聞は県内の医療情報をキャッチするにはよい手段だと思っています。分

保険医年金募集結果のお知らせ

第16次保険医年金募集も大好評のうちに終了しました。おかげ様で年金始まって以来の188名、1390口のお申し込みをいただきました。

今回、新たにご加入あるいは増口をされた方々には厚くお礼申し上げます。

- ※ 第1回保険料引落日 12月26日(土)
- ※ 加入者証の発行 63年2月末日予定

